

1 外来語の急増にタイプがある？

近現代日本語は外来語が急増する。特に抽象的な外来語が**重要**!! 急増傾向が20世紀後半に見られるが、その増加過程には**タイプ**があると考えられる。

問題

それらの抽象的な外来語の受容・増加には、**どのタイプ**があるか？そして、それはどのような外来語受容を意味するか？

調査対象 「センス」「システム」「ポイント」「イメージ」「パターン」「モード」
調査資料 日本語資料：『青空文庫』『日本語歴史コーパス』『CD-ROM版：新潮文庫の100冊』『読売新聞縮刷版』『ヨミダス歴史館』『CD毎日新聞データ集』。
英語資料：Corpus of Historical American English (アメリカ英語歴史コーパス) と British National Corpus (現代イギリス英語国立コーパス)。

2 「センス」「ポイント」を例に

「センス」の用法

(1) 君はカラー・センスのない男だね。ああ云う派手な着物は、集会の時や何かにほごくいのだね。(夏目漱石『野分』1907 青空文庫)

用法①「**繊細な感覚を持って、美を見分ける能力**」→段階Ⅰ「**特定な専門用語に限られる**」

(2) 即ち現代の日本人の多くは国語を通じて文学的なセンスを掴み得ないで、むしろ外国語を通じて掴んだといふことが謂へると思ふ。(岸田国土『外国語教育』1942青空文庫)

(3) 経営にはやはり“人”が第一だと思う。最近の若い人たちはすぐれた科学的センスを持っており、その若い人に一杯仕事をさせるとするのが私の方針だ。(「読売新聞」1959.7.17)

用法②「**繊細な感覚を持って、何かを見分ける能力**」→段階Ⅱ「**徐々に一般的な分野に広がる**」

(4) それで新たに服を作られる方々のご参考までに、センスに富んだ服装をそろえるための選択のコツなど白木屋専属デザイナー、ミス・ベンタタ、国方澄子さんにうかがってみました。(「読売新聞」1954.2.10)

(5) 野球のセンスは抜群。どんなゴロでも簡単にとってしまう。(「読売新聞」1977.3.1)

用法③「**優れたさま**」、用法④「**遂行する能力**」→段階Ⅲ「**日本語内で独自の用法が生じる**」

「ポイント」の用法

(6) ポイントに置き石、上野発の終列車が脱線した。(「読売新聞」1890.9.16)

(7) ポイント式活字(九ポイント)発売広告(「読売新聞」1905.1.6)

用法①「**転輻機**」、用法②「**活字の大きさの単位**」→段階Ⅰ「**特定な専門用語に限られる**」

(8) この春は特に目にポイントにおいて、神秘的な美しさを表現するようにしてみましょう。(「読売新聞」1956.03.26)

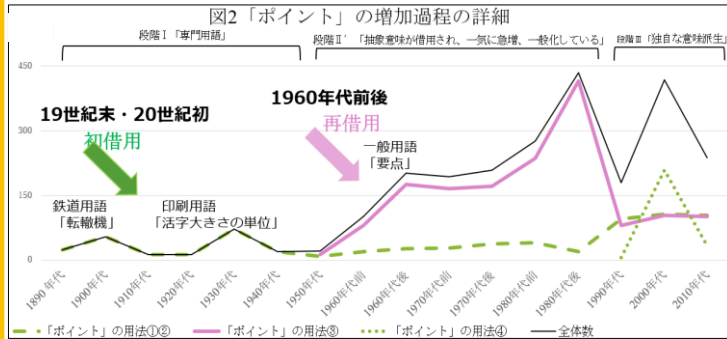
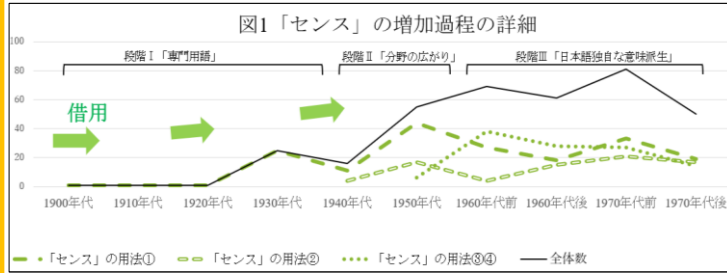
(9) この初勝利に投手起用がポイントだ。(「読売新聞」1962.05.19)

用法③「**要点**」が原語から借用され、広範囲で用いられる。→段階Ⅱ「**一般概念の借用**」

(10) このカードは本来の機能に加え、(1) カードを利用するたびにポイントが蓄積され、たまったらポイント数により現金が会員の口座に払い戻される。(「読売新聞」1995.08.25)

用法④「**サービスを受けられる得点**」→段階Ⅲ「**日本語内で独自の用法が生じる**」

3 「自然増加するタイプ」と「再借用による急増するタイプ」



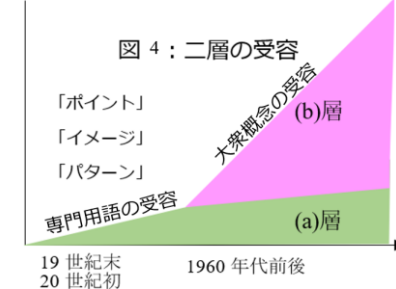
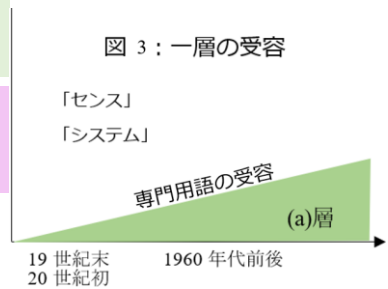
★★「**再借用**」とは、既に借用されていたにもかかわらず、あらためて原語から借用しなおすこと。「ポイント」は段階Ⅰで借用された用法「**転輻機**」「**活字の大きさの単位**」は、専門分野に限られたものである。一方、段階Ⅱ'で急増する用法「**要点**」は、一般的な概念として一気に広範囲に広がっている。両段階の意味間に明確な含意の関連性が見られないだけでなく、分野間の距離も遠いと思われる。このため、段階Ⅱ'で急増する意味「**要点**」は、段階Ⅰから語内で自然に変化してくるものではなく、原語からあらためて借用した、つまり「再借用」したものである。

4 近現代日本語における外来語受容の二層

(a) 専門用語として限られた範囲で受容する

(b) 比較的広い範囲にわたった、一般概念として受容し、大量に使用する

受容が重層的になっている



日本語内で自然に増加

- I 特定分野の専門用語に限って借用される
- II 専門用語から徐々に一般的な分野に広がる
- III 日本語内で独自の用法が生じる(日本語化)
語例「センス」「システム」

原語からの再借用で急増

- I 特定分野の専門用語に限って借用される
- II 一般概念としての抽象的意味が借用される
- III 日本語内で独自の用法が生じる(日本語化)
語例「ポイント」「イメージ」「パターン」